

正誤表

本誌におきまして、下記のとおり記載内容に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

●p.748 右段 4, 5 行目

誤

上記症例における具体的なアプローチ法 (図 16~18) とその結果獲得された運動学習を示す。

正

上記症例における具体的なアプローチ法 (図 16~17) とその結果獲得された運動学習を図 18 に示す。

●p.750 左段 5 行目

誤

上記の具体的なアプローチ法を図 16~18 に示す。

正

上記の具体的なアプローチ法を図 19~22 に示す。

●p.750 左段 8 行目

誤

c. ピラティスを活用した腰痛へのアプローチに含まれる全要素 (図 19~22)

正

c. ピラティスを活用した腰痛へのアプローチに含まれる全要素 (表 4)

●p.751 左段 6 行目

誤

触知キュー (合図) でも与えることができる。

正

触知キュー (合図) でも与えることができる (表 5)。

●p.751 右段 5, 6 行目

誤

減量に優先されるべきである (表 5)。

正

減量に優先されるべきである。